

ペキサロン™フロアブル

| | | | |
|-----|------------|--------------|-------------------|
| 版番号 | 改訂日: | 整理番号: | 前回改訂日:- |
| 1.0 | 2024/09/20 | 800080101101 | 初回作成日: 2024/09/20 |

Corteva Agriscience™ は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M)SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。このSDSは、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。このSDSは、日本の法規制及びJIS Z 7253に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ペキサロン™フロアブル

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社情報

製造業者/輸入業者

コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社
100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号 : 03-3519-3410
電子メールアドレス : SDS@corteva.com

緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

GHS分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

GHS分類基準に該当しない。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

ペキサロンTMフロアブル

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
1.0 2024/09/20 800080101101 初回作成日: 2024/09/20

成分

| 化学名 | CAS 番号 | 含有量 (% w/w) | 化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号 |
|-----------|--------------|-------------|--------------------------|
| トリフルメズピリム | 1263133-33-0 | 10 | 8-(2)-2711 |
| プロパンジオール | 57-55-6 | 6.8 | 2-234 |
| パリゴルスカイト | 12174-11-7 | 1.9 | |

4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
中毒情報センターまたは医師に問い合わせるときや治療に行くときは、製品の容器またはラベルを持っていくこと。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。
人工呼吸あるいは酸素吸入、場合によってはその両方が必要になることがある。
中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを
得る。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服を脱がせる。
皮膚を直ちに多量の水で 15-20 分間洗う。
中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを
得る。
- 眼に入った場合 : 目を開け水で 15-20 分間ゆっくり穏やかに洗う。
コンタクトレンズを着用している場合は 5 分後に外し、その
後も洗浄を続けること。
中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを
得る。
- 飲み込んだ場合 : 中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを
得る。
飲み込むことが可能ならコップ一杯の水を飲ませる。
毒物管理センターまたは医師からの指示を受けないでおう吐
を誘引しない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 応急措置をする者の保護 : 救急救命士は自己防衛に努め、推奨されている防護服を着用
すること。
曝露の危険がある時は、個人用防護具に関する第 8 章を参照
すること。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧
耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO₂)

ペキサロンTMフロアブル

| | | | |
|-----|------------|--------------|-------------------|
| 版番号 | 改訂日: | 整理番号: | 前回改訂日: - |
| 1.0 | 2024/09/20 | 800080101101 | 初回作成日: 2024/09/20 |

| | |
|-------------------------|---|
| 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性 | : 粉末消火剤 : 知見なし。 : 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。 |
| 有害燃焼副産物 | : 火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。燃焼生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない: 窒素酸化物 (NO _x) 炭素酸化物 |
| 特有の消火方法 | : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。区域から退避させること。未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。 |
| 消火を行う者の保護 | : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。保護具を使用する。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|-----------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | : 適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。 |
| 環境に対する注意事項 | : 環境への放出は必ず避けなければならない。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。広範囲に広まるのを防ぐ（封じ込めまたはオイルバリアなどによる）。汚染された洗浄水を保管し、処分する。流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | : 適切な吸収剤を使って流出の残余物を除去する。本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。大規模な流出の場合は、物質が広がらないように、堤防で囲うか、他の適切な封じ込めを行う。堤防で囲った物質をポンプで汲み出せるのであれば、回収物質は、ベント付き容器に保管すること。漏洩物質が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。追加情報として、項目13の廃棄上の注意を参照。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

ペキサロンTMフロアブル

| | | | |
|-----|------------|--------------|-------------------|
| 版番号 | 改訂日: | 整理番号: | 前回改訂日: - |
| 1.0 | 2024/09/20 | 800080101101 | 初回作成日: 2024/09/20 |

- 安全取扱注意事項 : 蒸気/粉じんを吸い込まない。
十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。
- 接触回避 : 強酸
強塩基類
- 衛生対策 : 取扱後および飲食、ガム、タバコの使用前、またはトイレ使用前には、石鹼と水でよく手を洗う。
物質が内部に入った場合、衣服/PPE(個人用保護具)を直ちに脱ぐ。
十分に洗い、清潔な衣服を着用する。
この製品の取り扱い後は速やかに保護具を取り外す。
- 保管**
- 安全な保管条件 : 密閉容器に保管すること。
適切なラベルのついた容器に入れておく。
各国の規定に従って保管する。
- 混触禁止物質 : 強酸化剤
- 安全な容器包装材料 : 適さない材質: 知見なし。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

- 設備対策 : 特に、閉所では十分な換気の確保が必要。

保護具

- 呼吸用保護具 : 適切な許容限界を超えた濃度で、空气中的浮遊物質に暴露される可能性がある場所では、承認されたダストおよびミスト用カートリッジ付呼吸保護具を着用すること。

手の保護具

- 備考 : この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例：ポリ塩化ビニル(PVCまたはビニル)。ネオプレン。ニトリル/ブタジエンゴム(ニトリルまたはNBR)。注意：特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件(切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護)、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。

- 眼の保護具 : この物質との接触を避けるため保護用眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具 : 手袋、前掛け、長靴、カバーオールなどの保護衣を必要に応じて着用すること。

ペキサロンTMフロアブル

| | | | |
|-----|------------|--------------|-------------------|
| 版番号 | 改訂日: | 整理番号: | 前回改訂日: - |
| 1.0 | 2024/09/20 | 800080101101 | 初回作成日: 2024/09/20 |

保護対策 : 製造者の個人保護具 (PPE) のクリーニング/メンテナンスの指示に従うこと。もしそのような洗浄に関する指示が存在しない場合、洗剤と湯を使用すること。他の洗濯物と分けて個人保護具 (PPE) を洗うこと。
この製品によりひどく汚染または濡れた衣服および他の吸収剤を廃棄する。これらは再使用しない。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 黄色

臭い : かすかな臭い

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点/凝固点 : データなし

沸点, 初留点及び沸騰範囲 : データなし

可燃性 (液体) : データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし
値

爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし
値

引火点 : > 93.3 ° C
引火しない

自己発火性 : 513 ° C

pH : 5.5 - 8.5

蒸発速度 : データなし

粘度

粘度(粘性率) : データなし

動粘度 (動粘性率) : データなし

溶解度

水溶性 : 分散する

溶媒に対する溶解性 : データなし

ペキサロンTMフロアブル

| | | | |
|-----|------------|--------------|-------------------|
| 版番号 | 改訂日: | 整理番号: | 前回改訂日:- |
| 1.0 | 2024/09/20 | 800080101101 | 初回作成日: 2024/09/20 |

n-オクタノール／水分配係数 (log 値) : データなし

蒸気圧 : データなし

密度及び／又は相対密度
比重 : 1.06

密度 : 1.06 g/mL

相対ガス密度 : データなし

爆発特性 : データなし

酸化特性 : 本製品は酸化性物質としては分類されない。

粒子特性
粒子サイズ : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 反応性危険としては分類されない。

化学的安定性 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
通常の状態では安定。

危険有害反応可能性 : 推奨保管条件下では安定。
爆発性の粉じん混合気を形成することがある。

避けるべき条件 : 知見なし。

混触危険物質 : 強酸
強塩基類

危険有害な分解生成物 : 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。
分解生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない:
窒素酸化物 (NO_x)
炭素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 423
備考: 情報源: 内部試験報告書

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): > 5.91 mg/l

ペキサロンTMフロアブル

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
1.0 2024/09/20 800080101101 初回作成日: 2024/09/20

曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 436
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: 情報源: 内部試験報告書

急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402
備考: 情報源: 内部試験報告書

成分:**トリフルメゾピリム:**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット, オス): > 5,000 mg/kg
LD50 (ラット, メス): 4,930 mg/kg

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット, オスおよびメス): > 5.04 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: この濃度では死に至らない。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg

プロパンジオール:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 20,000 mg/kg

急性毒性 (吸入) : LC50 (ウサギ): 317.042 mg/l
曝露時間: 2 h
試験環境: 粉じん/ミスト
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: ミストは上気道(鼻と喉)を刺激することがある。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): > 2,000 mg/kg
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

皮膚腐食性/刺激性**製品:**

種 : ウサギ

ペキサロンTMフロアブル

| | | | |
|-----|------------|--------------|-------------------|
| 版番号 | 改訂日: | 整理番号: | 前回改訂日:- |
| 1.0 | 2024/09/20 | 800080101101 | 初回作成日: 2024/09/20 |

| | |
|----|---------------------|
| 方法 | : OECD 試験ガイドライン 404 |
| 結果 | : 皮膚刺激なし |
| 備考 | : 情報源: 内部試験報告書 |

成分:

トリフルメゾピリム:

| | |
|----|----------|
| 種 | : ウサギ |
| 結果 | : 皮膚刺激なし |

プロパンジオール:

| | |
|----|----------|
| 種 | : ウサギ |
| 結果 | : 皮膚刺激なし |

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

製品:

| | |
|----|---------------------|
| 種 | : ウサギ |
| 結果 | : 眼への刺激なし |
| 方法 | : OECD 試験ガイドライン 405 |
| 備考 | : 情報源: 内部試験報告書 |

成分:

トリフルメゾピリム:

| | |
|----|-----------|
| 種 | : ウサギ |
| 結果 | : 眼への刺激なし |

プロパンジオール:

| | |
|----|-----------|
| 種 | : ウサギ |
| 結果 | : 眼への刺激なし |

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品:

| | |
|--------|---------------------|
| 試験タイプ | : 局所リンパ腺評価 |
| 種 | : マウス |
| アセスメント | : 皮膚感作性なし |
| 方法 | : OECD 試験ガイドライン 429 |
| 備考 | : 情報源: 内部試験報告書 |

成分:

トリフルメゾピリム:

| | |
|----|---|
| 備考 | : 皮膚感作性: モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。 |
|----|---|

ペキサロンTMフロアブル

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
1.0 2024/09/20 800080101101 初回作成日: 2024/09/20

備考 : 呼吸器感作性:
関連のあるデータは得られていない。

プロパンジオール:

種 : ヒト
アセスメント : 皮膚感作性なし

生殖細胞変異原性

成分:

トリフルメゾピリム:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 試験で、突然変異誘発性が示されなかった。 In vivo 試験で、突然変異誘発性が示されなかった。

プロパンジオール:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。動物遺伝毒性試験は陰性だった。

発がん性

成分:

トリフルメゾピリム:

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

プロパンジオール:

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

パリゴルスカイト:

発がん性 - アセスメント : 一部の試験動物で発がん性のあった成分を含有する。

生殖毒性

成分:

トリフルメゾピリム:

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。
動物試験で、催奇形性はなかった。

プロパンジオール:

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。動物試験では、繁殖性を阻害しなかった。
動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

ペキサロンTMフロアブル

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
1.0 2024/09/20 800080101101 初回作成日: 2024/09/20

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

製品:

アセスメント : 入手可能データは特定標的臓器毒性（単回ばく露）を決定するには不十分である。

成分:

トリフルメゾピリム:

アセスメント : 入手可能データは特定標的臓器毒性（単回ばく露）を決定するには不十分である。

プロパンジオール:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

パリゴルスカイト:

アセスメント : 入手可能データは特定標的臓器毒性（単回ばく露）を決定するには不十分である。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

製品:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（反復ばく露）を示さない。

反復投与毒性

成分:

トリフルメゾピリム:

備考 : 入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、顕著な有害影響は予期されない。

プロパンジオール:

備考 : プロピレングリコールに反復過剰暴露すると、まれに中枢神経系影響を起こすことがある。

パリゴルスカイト:

備考 : 動物では、以下の臓器に影響することが報告されている：
肺。

ペキサロンTMフロアブル

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
1.0 2024/09/20 800080101101 初回作成日: 2024/09/20

誤えん有害性

製品:

物性上、誤えん有害性は低い。

成分:

トリフルメゾピリム:

物性上、誤えん有害性は低い。

プロパンジオール:

物性上、誤えん有害性は低い。

パリゴルスカイト:

物性上、誤えん有害性は低い。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性 : LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): > 120 mg/l
曝露時間: 96 h
LC50 (ニジマス (Oncorhynchus mykiss)): > 107 mg/l
曝露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 106 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (セレナストラム・カプリコルナタム)): 110 g/l
曝露時間: 72 h
最大無影響濃度 (Pseudokirchneriella subcapitata (セレナストラム・カプリコルナタム)): 30 mg/l
曝露時間: 72 h

成分:

トリフルメゾピリム:

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 122 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式
魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 9.7 mg/l

ペキサロンTMフロアブル

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
1.0 2024/09/20 800080101101 初回作成日: 2024/09/20

曝露時間: 88 d
試験タイプ: 流水式

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 14 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 21 d
試験タイプ: 半止水式

プロパンジオール:

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 40,613 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : LC50 (Ceriodaphnia dubia (ミジンコ)): 18,340 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 19,000 mg/l
エンドポイント: 生長率阻害
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Ceriodaphnia dubia (ミジンコ)): 13,020 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性) エンドポイント: 子孫の数
曝露時間: 7 d
試験タイプ: 半止水式

微生物に対する毒性 : 最大無影響濃度 (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): > 20,000 mg/l
曝露時間: 18 h

残留性・分解性**製品:**

生分解性 : 備考: 有効成分について:
易分解性ではない。

成分:**プロパンジオール:**

生分解性 : 好気性
結果: 易分解性
生分解: 81 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テストガイドライン 301F あるいは同等のもの

ペキサロンTMフロアブル

| | | | |
|-----|------------|--------------|-------------------|
| 版番号 | 改訂日: | 整理番号: | 前回改訂日: - |
| 1.0 | 2024/09/20 | 800080101101 | 初回作成日: 2024/09/20 |

備考: 10-day Window: 合格

結果: 易分解性
生分解: 96 %
曝露時間: 64 d
方法: OECD テストガイドライン 306 あるいは同等のもの
備考: 10-day Window: 非該当

生化学的酸素要求量 (BOD) : 69.000 %
インキュベーション時間: 5 d

70.000 %
インキュベーション時間: 10 d

86.000 %
インキュベーション時間: 20 d

化学的酸素要求量 (COD) : 1.53 kg/kg

ThOD : 1.68 kg/kg

光分解性 : 速度定数: 1.28E-11 cm³/s
方法: 推定値**生体蓄積性****製品:**生体蓄積性 : 備考: 有効成分について :
生物濃縮されない。**成分:****プロパンジオール:**生体蓄積性 : 生物濃縮因子 (BCF) : 0.09
方法: 推定値n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: -1.07
(log 値) 方法: 測定値
備考: 生物濃縮の可能性は低い。(BCF: < 100 または Log
Pow: < 3)**パリゴルスカイト:**n-オクタノール/水分配係数 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。
(log 値)**土壌中の移動性****成分:****プロパンジオール:**

ペキサロンTMフロアブル

| | | | |
|-----|------------|--------------|-------------------|
| 版番号 | 改訂日: | 整理番号: | 前回改訂日: - |
| 1.0 | 2024/09/20 | 800080101101 | 初回作成日: 2024/09/20 |

環境中の分布 : Koc: < 1
方法: 推定値
備考: ヘンリー定数が極めて低いので、自然水系や湿った土壌からの蒸発は多くないと考えられる。
土壌中移動性がきわめて大きい(Koc: 0~50)。

パリゴルスカイト:
環境中の分布 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。

オゾン層への有害性

成分:

プロパンジオール:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

パリゴルスカイト:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

他の有害影響

成分:

プロパンジオール:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

パリゴルスカイト:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

残余廃棄物 : 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
以下の情報は購入時の状態のときのみ適用される。使用後或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃

ペキサロンTMフロアブル

| | | | |
|-----|------------|--------------|-------------------|
| 版番号 | 改訂日: | 整理番号: | 前回改訂日: - |
| 1.0 | 2024/09/20 | 800080101101 | 初回作成日: 2024/09/20 |

棄方法を決める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。
内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

| | |
|------------------------------|-------|
| 国連番号 | : 非該当 |
| 国連輸送名 (Proper shipping name) | : 非該当 |
| 国連分類 (Class) | : 非該当 |
| 副次危険性 (Subsidiary risk) | : 非該当 |
| 容器等級 (Packing group) | : 非該当 |
| ラベル (Labels) | : 非該当 |

航空輸送 (IATA-DGR)

| | |
|---|-------|
| UN/ID 番号 (UN/ID number) | : 非該当 |
| 国連輸送名 (Proper shipping name) | : 非該当 |
| 国連分類 (Class) | : 非該当 |
| 副次危険性 (Subsidiary risk) | : 非該当 |
| 容器等級 (Packing group) | : 非該当 |
| ラベル (Labels) | : 非該当 |
| 梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) | : 非該当 |
| 梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) | : 非該当 |

海上輸送 (IMDG-Code)

| | |
|-----------------|-------|
| 国連番号 | : 非該当 |
| 国連輸送名 | : 非該当 |
| 国連分類 | : 非該当 |
| 副次危険性 | : 非該当 |
| 容器等級 | : 非該当 |
| ラベル | : 非該当 |
| EmS コード | : 非該当 |
| 海洋汚染物質 (該当・非該当) | : 非該当 |

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

ペキサロンTMフロアブル

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
1.0 2024/09/20 800080101101 初回作成日: 2024/09/20

15. 適用法令

関連法規

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2 (施行令別表第 9)

| 化学名 | 含有量 (%) | 備考 |
|----------------|-----------|------------------|
| プロパン-1, 2-ジオール | >=3 - <10 | 2025 年 4 月 1 日以降 |
| パリゴルスカイト | >=1 - <3 | 2025 年 4 月 1 日以降 |

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条 (施行令第 18 条)

| 化学名 | 備考 |
|----------------|------------------|
| プロパン-1, 2-ジオール | 2025 年 4 月 1 日以降 |
| パリゴルスカイト | 2025 年 4 月 1 日以降 |

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

農薬取締法

16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ADR - 陸路による 危険物品の国際輸送に関する協定; ASTM - 米国材料試験協会; ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと 考えられる濃度; EmS - 緊急時のスケジュール; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学 品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害 濃度; IMDG - 国際 海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; RID - 欧州危険物国際鉄道輸送規則; SDS - 安全データシート; UN - 国連; ENCS - 化審 法の既存化学物質リスト; ISHL - 労働安全衛生法

製品コード: GF-3962

ペキサロンTM フロアブル

| | | | |
|-----|------------|--------------|-------------------|
| 版番号 | 改訂日: | 整理番号: | 前回改訂日: - |
| 1.0 | 2024/09/20 | 800080101101 | 初回作成日: 2024/09/20 |

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA